

# 公共施設の費用料、原発事故避難計画案などで活発な発言 市議会が市内6会場で意見交換会開催

市議会意見交換会が24日、26日、市内の6会場で行われまし

た。この会は市政に係わるいろいろな問題を市民から出してもらい、意見交換し、市議会の活動に役立つようというものです。私は、頸城区の希望館で行われた市議会意見交換会に参加してきました。



希望館での意見交換会に参加した市民は議員を除くと約20人です。参加者は頸城区を中心に、吉川区、三和区、大潟区、直江津などから参加していました。24日、25日と他会場で注目された若者n参加はほとんどなく、女性参加者も一人だけでした。発言にあたって、他会場で話題に上った地元優先というのはなく、司会者からは、「発言される方は出来るだけ多くの人が発言できるように2項目程度にお願いします」という要請があっただけ

けでした。

市民からの発言で最初に出たのは、公共施設の費用料改定に伴う減免問題でした。「あの種の減免指針を設けて、それに該当する団体に適用するように」という提案でしたが、その底流にはスポーツ団体にも適用してもらいたいという願いがありました。公共施設の費用料引き上げ問題は自主的な活動を進めている市民団体の活動に影を落としている、まだ終わっていないと感じました。

「終わっていない」と言えば、(仮称)厚生産業会館問題もそうです。「財政が厳しいなら建設はがまんすべき。公共施設使用料の引き下げなどに使うべきだ」「駐車場はいまでも困っている。このまま行くと大混乱となる」などの声が上がりました。

現在、上越市は原子力災害避難計画案市民説明会を行っています。避難計画案をめぐっての発言にも注目しました。「屋内避難を基本にし、避難経路を設けるなら、そこにもモニタリング装置を置くべきではないか。避難計画を立てたら再稼働ということにならないようにしてほしい」「市民説明会では予算的に無理とのことだったが、モニタリングポストだけでなく、個人向け線量計も配備すべきではないか」などの提案が出されました。

このほか、交付税対策、少子化対策、産業団地の活用方法、地域活動支援事業の見直し、公民館活動などについても意見や質問が出されました。議会改革についても発言はありませんでしたが、議会や議員の姿勢として、



【ヤブハギ】マメ科の多年草。漢字で「藪萩」と書きます。林の下の湿ったところに群がって咲いていました。花は紫色。又スビトハギに似ていますが、こちらは葉が茎の中ほどから下の方に集まります。写真は吉川区小苗代にて撮影しました。

「強い立場で市民の命を守る。行政をただしてほしい」といった発言が吉川区、大潟区在住の2人の市民からあったことは重要です。強く印象に残りました。

全体として意見交換がテニスや卓球のラリーのように続けられることはなく、多くは、市民が質問し、議会側が答えるという形で終わりました。こういう状態をどのようにして変えていくかは議会の今後の課題です。

## 9月定例市議会は1日から

9月定例市議会が1日から28日までの会期で行われます。総括質疑は1日、2日、一般質問は16日からです。2日の総括質疑には日本共産党議員団の代表が昨年度の一般会計決算などについて質疑を行う予定です。ぜひ、傍聴にお出かけください。

## 1000人集会にぜひご参加を

8月30日午後3時からの戦争法案反対1000人集会・パレードにぜひ参加してください。会場はジャスコ近くに「かに池公園」です。パレードは午後4時ころからです。同公園から市役所まで戦争法案反対を訴えて歩きます。

下の写真は25日午前、蒲川原物産館前で行われた街頭からの訴え。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.1721 2015.8.30

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第三六九回 二番生り

Yさんのカボチャ畑は思いのほか小さなものでした。縦六畝、横三畝くらいしかありません。そこではカボチャのツルが所狭しとはついで、直径七センチくらいから一二センチくらいの「坊っちゃんカボチャ」がたくさん転がっていました。カボチャの畑にはそよ風が吹き、二匹の白い蝶が舞っていました。

近所に住むYさんが「二番生り（にはなり）」という言葉を使ったのは、お盆前のある日の夕方でした。わが家の玄関まで来ると、Yさんは「キュウリとカボチャ、なじよだね」と声をかけてくださったのです。そして、「カボチャは二番生りだでも、味つけて食べてくんない」と言っていて、手押し車に載せている大きな箱のなからキュウリとカボチャをいくつも出しました。もちろん、いただきませしたよ。

「二番生り」という言葉を聞いた時、私の頭に浮かんだのは、イネの「まさり」でした。一度刈ったイネの株から再び茎がのびだし、そのまま生長を続け、最後は実をつける、あの姿です。秋の遅い時期に実をつけますが、実が入らないものも多く、実が入ったとしても味は落ちることから、そのまま放置している農家がほとんどです。

もらったカボチャは、いつも目にするカボチャです。いつものカボチャと違う恰好をしているわけはありません。ただ「二番生り」がどうしてできるのかが気になりました。Yさんからは、後日、一番最初のものを取り終わった頃、ツルがさらに伸びて花を咲かせ、実をつけたものをいうと聞きました。それでもイメージできませんでした。

こうなれば畑で実際の姿を見て確認するしかない。そう思った私は、お盆が過ぎてからYさん宅に声をかけ、カボチャ畑を訪ねました。

畑はわが家から二〇〇畝ほどのところにあります。幸いYさんは畑におられ、話を聞くことができました。

畑には稲ワラが敷いてあり、乾燥して白っぽくなっていました。そこにカボチャのツル、実がのつていました。Yさんは、カボチャのツルを「木」と呼んでいます。ツルに触ってみると、「木」と呼びたくなるほど固いんですね。しかも根っこに近くなるほど固く、ひねた色になっています。ツルには白い斑点のようなトゲが無数にありました。これがあるからカボチャは木のぼりもできるのでしょう。

Yさんはツルの根元を握り、「これに最初生るの……、ほして、最初生ったら、これがまた次のを生らせるの」と言いました。「別のツルが出てくるんじゃないかと同じツルにかね」と私が訊くと、「そう、同じツルで、一回目んのをとって、もうちつと経つとまた生るの」との答えが返ってきました。根元から新たに別のツルが伸びてくるものという私の思い込みは間違っていたのです。

Yさんがカボチャの苗を植えたのは五月の連休後だそうです。坊っちゃんカボチャの苗を三本、栗カボチャを一本植えたとか。最初に収穫したのは七月の上旬頃で、一本のツルから五、六個ほど収穫したということでした。「二番生り」は八月に入ってから収穫を始めたといえます。「二番生り」の方が実がつきやすいのでしょうか、畑にあるカボチャを数えてみたら、なんと六〇個前後もありました。

カボチャは実の付け根が茶色になると、もぎどきなんだそうです。畑からの帰り際、私は、Yさんからカボチャの「二番生り」を選んでもらい、一個いただきました。「最初のみてに、ぽっくんぽっくんしねでも味は同じこん。うんめでね」そういうYさんのお薦めはカボチャスूप、てんぷら、サラダの三つ。さて、何がいいでしょうか。

名人」を訪ね、丹念に記録し、自らも成長していく。その姿を追い続けます。

ひとつの仕事に打ち込み、極めている「森の名人」たちは魅力いっぱいでした。例えば、「木こり名人」として登場したおじいさん、「カルコ登り」という技、結びの技術が見事でした。そしてしゃべる言葉にも引き付けられました。「山の空間は反省の空間だ。人間には空間が必要なんだ」という言葉を聞きながら、この人は森の中の哲学者だと思いました。このおじいさんは私の祖父、音治郎と同じ顔をしていたのには驚きました。「焼き畑名人」のばあさんもすごかった。生きるためにずっとやってきた焼き畑農業を語る時の顔の真剣さと輝きは、素敵でした。



## 映画「千年の一滴」「森聞き」に感動

かきざき映画祭で上映された映画を2本観てきました。

ひとつは「千年の一滴」。和食に欠かせない「だし」と「しょうゆ」の物語です。こんぶやかつおぶしの

世界などをじっくり見せていただきました。プランクトンは分かるにしても流水のぶつかりあいもこんぶの生長に影響を与えているなんて知らなかったですね。夜露がこんぶに魔法をかけているというのも初めて知りました。「だし」には自然が凝縮している。「だし」の持つ「うまみ」は舌だけでなく、目で判断する。なるほどと思いました。仕上がり具合は「かつおぶし」でたいてみて、どんな音がするかで判断する。「かつおぶし」の世界もなるほどと思うことばかりでした。「しょうゆ」では麹菌の世界に引き込まれました。映画で最高の場面は赤ちゃんが生まれて初めてご飯粒を口にするところでした。あの赤ちゃんの笑顔は一生忘れることがないでしょう。

もう1本は、「森聞き」。これまで私は、「森の聞き書き甲子園」というのがあることを知りませんでした。映画はそのドキュメントです。4人の高校生が「木こり名人」「焼き畑名人」「茅葺き名人」など「森の

## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16  $\mu$  Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月19日(水)	8月26日(水)
上越南消防署	0.047	0.043
上越北消防署	0.057	0.053
新井消防署	0.050	0.040
頸北消防署	0.047	0.053
頸南消防署	0.050	0.057
東頸消防署	0.040	0.050
高士分遣所	0.043	0.047
名立分遣所	0.053	0.053